

現在、好生館では、当館で保管する検体・診療情報等を使って研究を実施しています。この研究は倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、実施しています。

研究の詳細についてお知りになりたい、またはこの研究に対して利用・提供してほしくないと思われた際には、好生館の問い合わせ担当者までご連絡ください。

【研究課題名】血清尿酸値と予後との関連 当院外来通院患者における観察研究

【研究対象者】

2007年4月1日～2028年3月31日までの間に当院外来受診をし、診療上の必要性により血液検査で血清尿酸値を測定した18歳以上の方

【利用している検体・診療情報等の項目】

〔検体〕血清 5 ml 尿検査

〔診療情報等〕年齢、性別、身長、体重、喫煙状況、診断名、併存疾患名、治療内容

【利用の目的】

尿酸は生体内で産生される際に活性酸素を生じるとされていますが、一方で尿酸は抗酸化物質でもあるとされています。酸化ストレスは様々な疾患に関わっているため、血清尿酸値によって予後が予測できると簡便にハイリスクの方の抽出が可能となり、臨床上非常に有用であると考えます。血清尿酸値と予後との関連について調べます。

【研究について】

遺伝子解析研究 （有・無)

営利企業との共同 （有・無)

【利用期間】

2007年4月1日～2029年3月31日

【佐賀県医療センター好生館 研究責任者及び問い合わせ担当者】

研究責任者：糖尿病代謝内科 吉村 達

問い合わせ担当者：糖尿病代謝内科 吉村 達

対応可能時間：平日9時～16時

電話：0952-24-2171（代表）

Eメール：[rinsyo@koseikan.jp](mailto:rinsyo@koseikan.jp)（臨床試験推進部）